

議会だより

あやがわ



1～4年生は各教室から
オンライン参加



5・6年生による校歌斉唱



コロナ禍での思い出の卒業式

(令和3年3月16日 滝宮小学校)

2021

NO. 60

令和3年4月22日
香川県綾川町

令和3年度一般会計当初予算	2～3P
令和3年度の新規事業	4P
定例会・補正予算・条例改正	5～6P
委員会報告	7～11P
一般質問	12～19P
傍聴記	20P

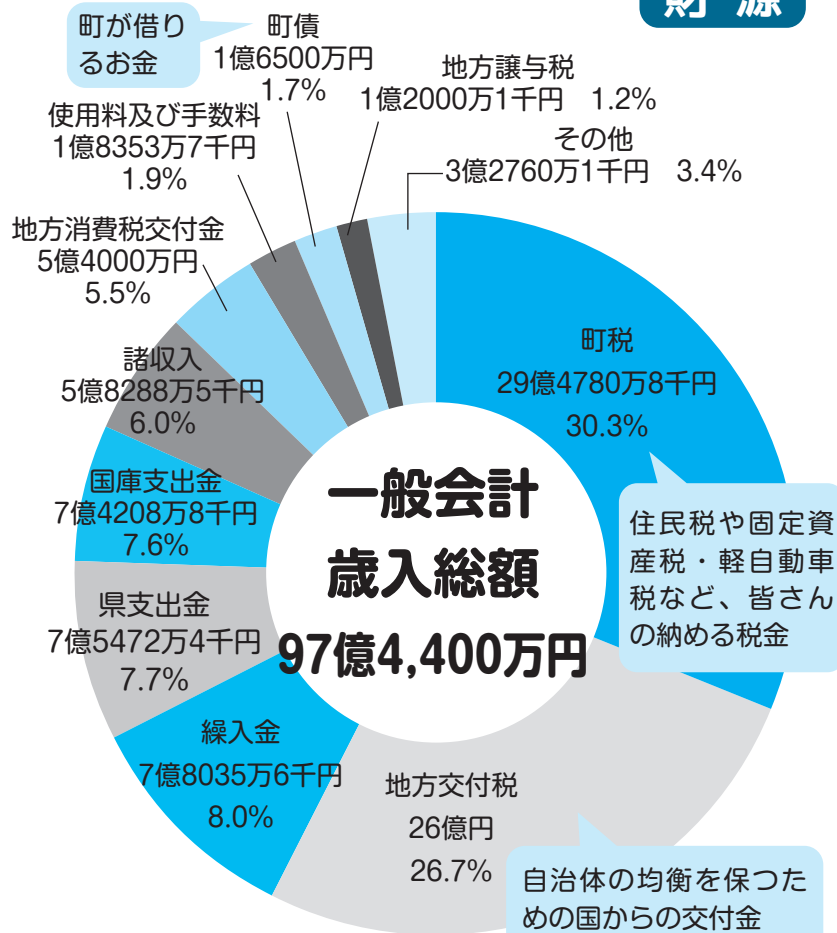


綾川町議会ホームページ

当初予算

前年度比2.4%増

財 源



特 別 会 計

会 計 名	予 算
町 営 バ ス 運 送 事 業	5,765万7千円
国 民 健 康 保 険	30億7,351万2千円
診 療 所	1億8,394万3千円
後 期 高 齢 者 医 療	3億9,919万1千円
介 護 保 険	32億5,305万9千円
火 葬 事 業	4,457万7千円
墓 園 事 業	654万円
農 業 集 落 排 水 事 業	1,264万円
下 水 道 事 業	4億4,305万7千円
育 英 事 業	2,578万1千円

… 3 月 定 例 会 …

令和3年度スタート
コロナに負けない、
命と暮らし第一の町に
感染防止・命・暮らしを守る予算に

3月定例会は、3月2日から3月22日までの21日間の会期で開催した。

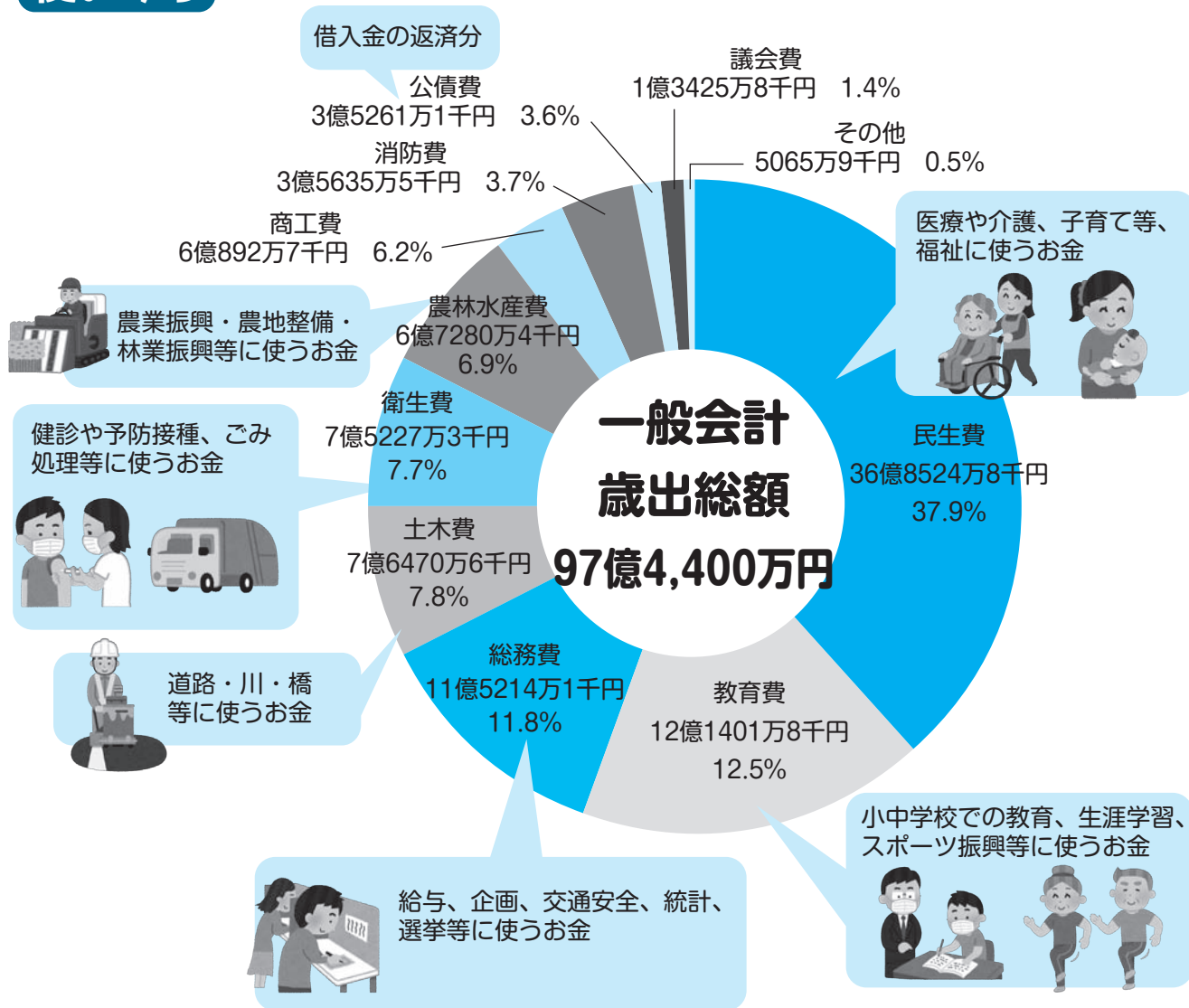
本会議初日には、町長から令和3年度施政方針と議案の提案理由の説明、また専決処分事項の報告2件を承認した。3月3日に令和3年度当初予算の概要説明を受け、10日には8名の議員が登壇して一般質問を行い、町執行部の考えを質した。提案された各議案を各常任委員会に付託し、散会した。

最終日の22日には、令和3年度一般会計・特別会計・公営企業会計予算等、議案30件を原案どおり可決し、閉会した。

今回の傍聴は延べ、33人であった。

令和3年度 一般会計 97億4,400万円

使いみち



公営企業会計

会 計 名		予 算	会 計 名		予 算
陶病院事業	事業収益	13億1,411万5千円	介護老人 保健施設事業	事業収益	3億7,907万4千円
	事業費用	13億1,152万1千円		事業費用	4億6,465万円
	資本的収入	3千円		資本的収入	1,199万9千円
	資本的支出	7,983万7千円		資本的支出	1,199万9千円



令和3年度の新規事業を
紹介します

結婚新生活支援事業 150万円

40歳以下の新婚世帯の新生活に係る引越費用等を補助する。
(p7に関連記事)



ごみ出し支援 137万3000円

ごみ出しが困難な高齢者等の支援を、ボランティア
や事業者等により行う。



昭和公民館エレベーター設置及び改修工事 1億200万円

施設の利活用向上を図るため、利便性を考慮し、
エレベーターの設置を行う。



スマホ決済ポイント還元 5000万円

新型コロナの経済対策及び、感染拡大防止対策と
して、スマートフォンのキャッシュレス決済を利用した時に、ポイントを上乗せし、還元する。



出産祝金 800万円

第1子3万円（従来1万円）第2子5万円（従来
1万円）に増額する。第3子以降は10万円で変更
はない。



令和2年度一般会計補正予算

(※専決処分事項)

●ワクチン接種に

1億3708万5千円

4月開始予定の、新型コロナウイルスワクチンの住民向け接種について、町からの接種券の発送、集団接種会場等の準備のために増額。

●綾川子育てスマイル応援金

コロナ対策として、子どもの進学・進級を迎える時期のひとり親家庭等に対して、児童1人当たり5万円を再支給する「綾川子育てスマイル応援金」に805万円の補正。

●緊急学生支援事業

令和3年1月7日に一部の都府県に緊急事態宣言が発令されたことに伴い、対象期間に緊急学生支援事業等を実施するため180万円の増額。

※「専決処分」とは、町村長が議会に代わって意思決定を行うこと。

この専決処分は、「町村長が議会の議決すべき事件について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかにであると認めるとき」に地方自治法の規定により許されることとなっている。

令和2年度一般会計補正予算

4955万2千円を増額し、13億7396万4千円とした。

●総務費

ふるさと納税の寄付総額が約6700万円となる見込み。歳出では返礼品を含む委託料等で1055万1千円の増額。

●民生費

障害者自立支援施設事業費3865万6千円の増額。こども園管理運営費として、加湿機能付空気清浄機124台の購入等で798万3千円の増額。

●衛生費

合併処理浄化槽設置整備事業費1406万円の減額。

●農林水産業費

認定農業者育成事業費1040万1千円の減額、県営土地改良事業費3722万9千円の減額。

●商工費

観光振興事業費728万1千円の減額。

●土木費

道路橋梁新設改良費2860万9千円の減額。急傾斜地崩壊防止対策費1199万9千円の減額。

●消防費

災害対策費1115万6千

円の減額。

●教育費

羽床小学校トイレ改修工事費に4500万円の増額。学校給食共同調理場空調設備改修工事費に5000万円の増額。



洋式トイレに改修予定の羽床小学校トイレ

条例の制定

綾川町一般職の任期付職員を採用等に関する条例

公務に有用な専門的な知識や経験を有する者、また業務に期限性が認められる場合や、住民サービスの提供体制の充実等のため「地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律」の規定に基づき、任期を定めた職員の採用を可能とする。

条例の改正

綾川町職員の特殊勤務手当に関する条例

「新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正

する法律」が令和3年2月13日から施行されることにより改正する。

綾川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

専門性のあるパートタイム会計年度任用職員の報酬を、別に定額で定めるための改正。共済保険等の負担金を給与から控除するため改正。

綾川町立学校条例

綾上中学校と綾南中学校を統合し、新たな中学校校名を「綾川町立綾川中学校」とし、令和4年4月開校とする。

綾川町国民健康保険条例

「新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律」が公布、施行されたことに伴い、関係条例を整備、改正する。

綾川町介護保険条例

第8期介護保険事業計画における介護保険料を改正する。

農業委員会委員の任命同意

任期 令和3年7月20日から3年間

谷本 利信 氏
三好 満 氏
滝川 廣男 氏
佐藤 裕子 氏

工事請負契約の締結

●総合運動公園陸上競技場改修工事

契約金額（消費税込）
（変更前）1億2210万円
（変更後）1億3099万9千円

契約者
（有）ビーワン
代表取締役 小川 一 氏

工期

令和2年10月2日
～ 令和3年3月19日

渡辺 玲子 氏
長尾 清 氏
國重 義廣 氏
丸尾 説男 氏
中添 文彦 氏
三好 光春 氏
川西 正廣 氏
藤瀧 健造 氏
笹川 武義 氏
藤重 英子 氏
三好 直樹 氏
井脇 弘幸 氏
森 健人 氏
大野 政則 氏

1月臨時会（1月21日）

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
工事請負変更契約の締結（令和2年度綾川町総合運動公園陸上競技場改修工事）	原案可決

3月定例会（3月3日～22日）

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
町長の専決処分事項の報告（綾川町育英事業基金条例の一部改正）	原案可決
町長の専決処分事項の報告（令和2年度綾川町一般会計補正予算）	〃
農業委員会委員の任命同意	〃
綾川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定	〃
綾川町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	〃
綾川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	〃
綾川町国民健康保険条例の一部改正	〃
綾川町介護保険条例の一部改正	〃
令和3年度綾川町町営バス運送事業特別会計予算	〃
令和3年度綾川町国民健康保険特別会計予算	〃
令和3年度綾川町国民健康保険診療所特別会計予算	〃
令和3年度綾川町後期高齢者医療特別会計予算	〃
令和3年度綾川町介護保険特別会計予算	〃
令和3年度綾川町火葬事業特別会計予算	〃
令和3年度綾川町墓園事業特別会計予算	〃
令和3年度綾川町農業集落排水事業特別会計予算	〃
令和3年度綾川町下水道事業特別会計予算	〃
令和3年度綾川町育英事業特別会計予算	〃
令和3年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計予算	〃
令和3年度綾川町介護老人保健施設事業会計予算	〃
令和2年度綾川町一般会計補正予算	〃
令和2年度綾川町町営バス運送事業特別会計補正予算	〃
令和2年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算	〃
令和2年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算	〃
令和2年度綾川町後期高齢者医療特別会計補正予算	〃
令和2年度綾川町介護保険特別会計補正予算	〃
令和2年度綾川町火葬事業特別会計補正予算	〃
令和2年度綾川町墓園事業特別会計補正予算	〃
令和2年度綾川町下水道事業特別会計補正予算	〃
令和2年度綾川町育英事業特別会計補正予算	〃

■賛否が分かれた議案

議案の内容	議員名	三好東曜	松内広平	十河茂広	植田誠司	西村宣之	大野直樹	三好重徳	岡田芳正	井上博道	川崎泰史	福家功	福家利智子	横井薫	鈴木義明	河野雅廣	安藤利光	議決結果
令和3年度綾川町一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決 (賛14・反1)
綾川町立学校条例の一部改正		●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	原案可決 (賛11・反4)

※○賛成、●反対、※一議長（採決には加わらない）

総務委員会

綾川町立学校条例の一部改正

中学校統合に伴い学校教育法施行令の規定において、学校の設置又は廃止は、県教育委員会への届出が必要である。そこで、新たな中学校名を「綾川町立綾川中学校」とする。

問 住民説明や安全対策の対応は。

答 広報紙等で周知している。安全対策も同時に進めている。新年度の自治会長会で十分説明する。

令和3年度綾川町一般会計予算

問 ことでん挿頭丘駅（かざしがあか）のエレベーター設置内容は。

答 駅のバリアフリー化を進めるための調査補助であり、ことでん、県と協議していく。

問 新規事業の結婚新生活支援事業補助金の内容は。

答 令和3年1月1日から令和4年3月31日までの間に婚姻届けを提出し、受理された40歳以下の夫婦であること。住宅費の礼金及び仲介手数料や引越費用としての実費を補助。再婚も対象となる。

教育委員会費・社会教育費

問 旧柏原分校の一部移転・保存はできないか。

答 建築から70年以上が経ち、老朽化が顕著であり、移転・保存はできないので解体して更地にする。

問 聖火リレーは一般客を募るのか。

答 沿道での観戦は、地元住民に案内する。ミニセレーションは、密になる恐れがある場合、整理券等の措置をとる。

第3次綾川町行政改革実施計画（集中改革プラン）

問 交通弱者へのタクシーチケット発行の再検討、貨客混載事業の取組は。

答 地域公共交通会議の中で検討する。

令和2年度高松市消防局綾川分署高規格救急自動車購入事業

問 進捗状況は。

答 3月22日に綾南農村環境改善センター前で目録贈

呈式を行う。また新車両、新機材の説明も行う。

その他

問 女子サッカーチーム（UDN香川FC）の現状は。

答 現在登録選手は10名である。

問 GIGAスクールのルールより先に、指針作成が必要では。

答 ルール作りと同時に進行で考える。タブレットは、学習指導のための道具の一つである。教室で教員と子どもたちが顔を合わせ、臨場感あふれるリアルタイムな学習が大切だと考える。

厚生委員会

綾川町介護保険条例の一部改正

令和3年度から5年度の月額介護保険料基準額を7千200円から7千円に減額。

問 保険料を下げる設定ができた要因は。

答 認定者数や認定率が低下傾向であることと、地域支援事業等の効果によるものである。

令和3年度綾川町一般会計予算

●総務費

・マイナンバーカード取得促進のための人件費等を計上。

●民生費

・あんしんタクシー助成事業費を計上。
・パラリンピック採火式関係経費を計上。
・こども園での新型コロナ



更新した高規格救急自動車

対策として、消毒液等の購入、水道蛇口をレバー式に改修する費用等を計上。

・山田・羽床上こども園で遊具の更新、山田こども園ステージ天井改修工事、旧滝宮保育所遊戯室の雨漏り改修工事、次年度改修を予定している羽床上こども園の設計費用を計上。

・南原児童館の遊戯室空調改修費用とトイレ改修工事費等を計上。

・出産祝金を第1子3万円、第2子5万円に増額。なお第3子以降は10万円。放課後児童クラブ運営業務委託料等を計上。

●衛生費

・PCR検査センターに関する費用を計上。

・高齢者等のごみ出し困難者に対し、ボランティアで対応できない場合に、自宅までごみ回収を行うための経費を計上。

問 地球温暖化対策実行計画のパブリックコメントは。

答 審議会に諮^{はか}った後、パブリックコメントを行う。

問 ①子育て支援医療費助成の拡大は。

②保育教諭等について、正規と非正規の割合は。

③ひとり親家庭等学習支援事業は。

④山田こども園のステージ改修工事の内容は。

答 ①対象年齢の拡大は研究課題。

②保育教諭等は正規3割・非正規7割である。

③ひとり親家庭等学習支援事業は、令和2年度実績は7名、令和3年度は10名を予定。

④山田こども園は、遊戯室ステージの、照明器具のLED化とカーテンの取り替えである。

問 新型コロナワクチン接種について、在宅介護者への対応等は。また福祉施設等へのPCR検査の検討は。

答 在宅介護者や施設入所者等、移動が困難な方に対する



ワクチン接種の訓練風景(3月13日 総合運動公園 体育館において)

要望している。町独自の医療費助成が国費の減額対象とならないよう、今後も要望していく。

ジェネリック希望カードは保険証ケースに差し込み利用する予定。

令和3年度綾川町国民健康保険診療特別会計予算

問 診療所に常勤医師を確保できないのか。

答 本町内には2つの公立病院がある状況で、県からは診療所に常勤医師の配置は難しいと言われている。陶病院と今後の在り方について検討していく。

令和3年度綾川町後期高齢者医療特別会計予算

問 今後2割負担になる被保険者がいる。負担が増えるのか。

答 収入により2割負担になる方がいるが、高齢者の医療費の4割を負担している若い世代の負担を軽減するためにも、ご理解いただきたい。

令和3年度綾川町介護保険特別会計予算

問 介護保険料の将来的な見通しは。

答 適正なサービスの提供と地域で支えあっていく仕組みが重要。

令和3年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計予算

259万4千円の黒字見込み。なお令和2年度は、コロナの影響により収入減の見込み。

問 外来収入へのコロナの影響額は。またデジタル化の取り組みは。

答 外来収入は、現時点では前年度比約5300万円の減収。玄関にサーモグラ

フリーを設置、職員の通用口にはタブレット型検温器を設置するなど、デジタル化に取り組んでいる。

令和2年度綾川町一般会計補正予算

問 資源ごみの売却代金は、収入が高くなるよう検討を。

答 収集に支障のないように、業者を選定していく。

令和2年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算

問 中止となった医師の研修の目的は。研修はオンラインでも可能では。

答 目的は地域医療を学ぶためである。国内研修は、オンラインで参加している。

令和2年度綾川町介護保険特別会計補正予算

問 給付費の増加は在宅サービス増加によるのか。

答 住宅改修等の増加も影響している。

第3次綾川町行政改革実施計画（集中改革プラン）

問 男女共同参画の会議は、オンラインでも取り組んで。また粉所分園の今後の利用計画は。

答 今後、幅広い年齢層の方にも参加できるよう取り組んでいく。粉所分園は地元の見聞を聞き、今後1～2年を目途に方策を示したい。

その他

問 子どもの虐待発生時や、保育教諭等へのハラスメントについての対応は。

答 虐待発生時は、警察・香川県西部子ども相談センター・関係機関と連携し適時対応している。

保育職場でハラスメントが発生した場合、事実を確認し、その人に合った復帰プランを作成し、職場復帰と一緒に考えている。今後も、ハラスメント防止と対応に努める。

問 こども園の連絡帳は。

答 現在満2歳以上で廃止しており、全体の連絡事項は印刷物を配布し周知している。緊急連絡は、保育教諭等が電話等で保護者に連絡をしている。

建設経済委員会

令和3年度綾川町一般会計予算

●経済課関係

・認定農業者育成事業、林道改良事業などの農林業振興事業

・基盤整備事業などの土地改良事業・賑わい創設などの観光振興事業
新規事業として

・農業振興地域整備計画の変更

・「香川・愛媛せとうち旬菜館」でのイベントに要する経費

・新嘗祭献穀田設置に要する補助事業・スマホ決済

ポイント還元事業・道の駅滝宮うどん会館指定管理に要する経費

●建設課関係

・中学校統合に向けた交通安全施設の整備

・道路改良事業・長柄ダム再開発事業関連経費

・小羽毛池埋立跡地における公園整備実施設計業務

新規事業として

・道路台帳の統合電子化業

務

・滝宮東部地区東部排水工事負担金

なお、道路台帳統合電子化業務については、令和4年度までの債務負担行為の設定を行う。

問 遊休農地の対策は。

答 遊休農地解消対策事業や、綾歌南部農業振興公社を活用した作業受委託により、遊休農地の解消や発生



公園整備候補地（小羽毛池埋立跡地）

防止に努めている。

問 新規就農者への対応は。

答 「新規就農相談会」の開催や、県中讃農業改良普及センターやJ Aと連携して新たな担い手の確保に努めている。

問 農家の高齢化に対する対応は。

答 地域の農地は地域で守るための集落営農への取り組みを推進している。

問 スマイル応援券と、スマホ決済ポイント還元事業の取り組み時期は。

答 スマイル応援券の有効期限の関係で、先にスマホ決済ポイント還元事業を進める。その状況により、スマイル応援券を効果的に実施していく。

問 鳥インフルエンザへの防止対策は。

答 養鶏農家に対しては、小動物の施設内への侵入防止対応について、県から指導を行なっている。

問 町道大橋向原上線改良

工事の内容及びスケジュールは。

答 綾南中学校南側の向原公民館前において未整備となっている歩道整備であり、今後地元や関係機関と協議の上進めていく。

問 移住・定住促進住宅の管理運営委託は。

答 指定管理者制度の導入も含め、検討していく。

令和3年度綾川町農業集落排水事業特別会計予算

栗原地区農業集落排水処理施設の維持管理に要する費用である。

問 施設の老朽化が進む農業集落排水事業の今後の在り方は。

答 費用対効果の面からも公共下水道への接続は困難であり、方向性としては、合併処理浄化槽への転換を考えている。転換の時期、手法等については、施設の機能診断の結果なども考慮しながら、できる限り早い

段階で検討していく。

令和3年度綾川町下水道事業特別会計予算

中讃流域下水道大東川処理区及び特定環境保全公共下水道に係る維持管理や建設に要する費用である。

主な内容は、地方公営企業会計移行業務やマンホールポンプの異常通報装置の更新、下水道管布設工事である。なお、中讃流域下水道事業及び地方公営企業会計移行業務については、債務負担行為の設定を行う。

その他

問 「道の駅滝宮つどん会館」について、テナントの集客及び売上げの向上は。

答 イベント開催などにより集客に努めるよう、うどん会館テナント協議会で検討していく。

問 えきバスなど、道の駅への公共交通機関等の運行は。

答 総務課と連携して、利便性のよい効率的な運行を協議していく。

問 讃岐うどん発祥の地や町内うどん店をPRする方法は。

答 道の駅に設置している大型モニターを利用するなど、発信の方法を検討していく。

学校等再編整備調査特別委員会

綾川町立中学校統合準備検討会及び標準服・体操服等選定部会の協議内容

学校名、校歌・校章の募集、標準服・体操服、通学支援（道路整備・スクールバス）、交流事業等について説明があった。

問 今年度はPTAの会合が出来ず、十分な検討ができていない。新しい制服の費用が不安になり署名活動をした方もいる。

答 委員は、各学校の代表者としての自負を持ち参加していただいている。制服を新しくすることは、学校名だけではなく、新しい学校への思いを作っていくものと考ええる。

問 新たな制服は保護者の経済的負担が増えるが、補助を考へては。子育て支援措置として考へていただきたい。

答 現段階で、補助や助成は考へていない。子育て支援としての補助は、研究が必要である。

問 住民の中には、「統合のことを聞いていない」という人がいる。住民説明会の実施は。

答 昨年は自治会長会がコロナ禍により中止となり、住民説明ができていない。今年度は自治会長会でしっかりと説明する。

問 ①新たな部活動の運用についての考えは。
②ICTを活用することについて

より、不登校や障がいを持った子どもにもオンライン授業などの対応ができるのでは。

答 ①現在、部活動の合同練習を行っている部もあるが、日常的に合同で練習することは難しい。部活動は大切であるが、学校において主ではない。

②学校や教室での空気感を味わい授業することが大切である。オンライン授業は、徐々に進めていきたい。

問 部活動対応のスクールバスの運行として、学校外施設への運行と、土日の運行を検討しては。

答 総合運動公園の体育館で活動している部があり、検討している。土日は、部活の時間が不規則であるため難しい。他市町の例をみても、土日の部活動に対応したスクールバスはない。

問 主要通学路の半分が未整備である。交通量が多い国道を通らなくても、安全

な町道等の防犯灯整備も含めて、柔軟な対応が必要では。

答 通学路については、保護者の意見も聞いていきたい。また「学校がなくなると地域が疲弊してさみしい」と聞くが、学校統合と地域の衰退を混同している。綾上中学校の生徒数はかなり減り、93名で3クラスである。専門以外の先生が教えることもあり、今がギリギリ

りのラインである。一刻も早く統合したい。

問 統合中学校の教職員の配置はどのようになるのか。

答 生徒数・クラス数により県教育委員会が決める。綾上中学校の教員が統合中学校に行くとは限らないが、今年の4月から若い先生方の交流も計画している。

問 跡地利用の検討は。

答 跡地利用は、町全体で考えていく。



送迎を検討中のスクールバス
(写真は綾上小学校のスクールバス)

議員表彰

全国町村議会議長会表彰
(議員在職10年以上)



福家 功 副議長

横井 薫 議員

福家利智子 議員

川崎 泰史 議員



中小企業者に給付金制度の継続を



安藤利光 議員

中学校統合は事前に住民説明会を

自治会長会で説明を行う予定

問

綾上中学校がなくなれば、地域が疲弊し、学校の無いところには、若い人は帰ってこなくなる。中学校統合について、住民の意見は聞いていない。決める前にきちんと説明会を開いて聞くべきでは。

また統合すれば、今の大きな校舎を何に利用するのか。歩道も未整備等問題がある。強行はしないように。

答

説明会は、新型コロナウイルス感染拡大により実施できていないが、「広報紙」や「検討会だより」で周知している。

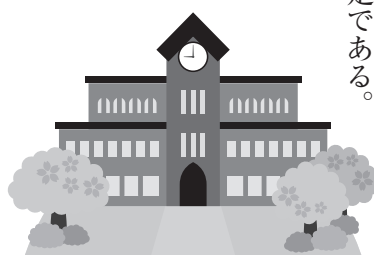
通学路整備や跡地利用は、関係機関と連携して取り組んでいく。

問

決める前に、住民の意見を聞いて進めるように。

答

中学校統合は、「子ども達の将来の可能性を見出す環境作り」を第一に考えて進めている。町民への周知は、自治会長会で説明を行う予定である。



中小企業者に再度、支援臨時給付金を

継続して実施する予定

問

新型コロナウイルスの感染拡大により、県内でも1月に医療・介護施設でクラスターが発生、2月には小学校でクラスターが発生し、感染の影響が深刻化してきている。

答

そこで医療、検査体制の拡充や事業と雇用を持続できる補償を求めたい。特に、コロナ禍で深刻な被害を受けている中小企業者に対して、「中小企業者等事業継続臨時給付金制度」の再度検討を。

中小企業者に対しては、給付金制度を継続して実施するよう考えている。令和3年も、業績が回復しない事業者へ引き続き支援を行うことで、事業の継続をしていただきたい。



正しく知り、正しく恐れ、小まめな対策を



井上博道 議員

新型コロナウイルス対応と本町見解は

関係機関と連携しながら対策中

新型コロナウイルス（以下、コロナ）報道は、偏向、扇動、虚偽内容を含む場合がある。専門家のコロナやワクチンに対する見解も分かれる。町民がコロナとワクチン情報を正しく知り、正しく恐れ、選択を間違えないよう、本町のコロナ対応と見解を問う。

問 綾川町新型コロナウイルス対策本部の具体的な活動内容、発足から現在までの実績、今後の方針はどうか。

答 本町では令和2年2月から対策本部を設置し、国・県と連携し、各種支援事業実施、情報発信等を協議した。今後も継続実施する。

問 国、香川県、綾歌地区医師会、町内民間医療機関及び専門職との連携状況はどうか。

答 県業務感染症対策課、中讃保健福祉事務所を中心として、常に連携している。また、綾歌地区医師会との協働で綾歌地区PCR検査センター開設、新型コロナウイルスワクチン接種準備等を行っている。

問 遺伝子レベルでの問題が懸念されるワクチン接種は人体実験のようなものである、との指摘もある。接種は任意であり、同調圧力がかからないようにすべきだが、接種には本人の同意が必要で、受ける・受けないで差別を受けるものではない。医療関係者についても、同意のもとで進められる。

答 次のような専門家の意見に対する本町の見解はどうか。

問 PCR検査陽性者イコール感染者ではない。PCR検査をやり続けた場合、コロナ騒動はいつまで経っても収束しない。

答 新しい生活様式による感染予防や、今後開始されるワクチン接種を通して、感染予防・収束に努めていく。PCR検査陽性者を感染者として虚偽報道するのは問題である。PCR検査陽性者は犯罪者ではない。

問 「PCR検査陽性」と「感染」と「発症」は違うが、指摘する人は少なく、質の悪い報道が多い。人類がかつて接種されたことがないmRNAワクチンは遺伝子異常等、何が起きるか分からない。安全性が未確立のワクチンは打ってはいけない。

答 ワクチンは国に承認されており、実施の指示が出されている。効果とリスク双方の情報提供に努め、引き続き感染予防及びワクチン接種準備に取り組む。

問 無症状のPCR検査陽性者を見つけても、風評被害を拡げるだけである。自粛させ、経済悪化を招き、倒産者、解雇者、自殺者が増やすのは犯罪である。

答 自殺等を防ぐよう、町も相談機関等の情報提供を今後も続ける。

問 意見の通りで、コロナハラスメント防止に取り組んでいく。

答 無症状のPCR検査陽性者を見つけても、風評被害を拡げるだけである。自粛させ、経済悪化を招き、倒産者、解雇者、自殺者が増やすのは犯罪である。

問 「PCR検査陽性」と「感染」と「発症」は違うが、指摘する人は少なく、質の悪い報道が多い。人類がかつて接種されたことがないmRNAワクチンは遺伝子異常等、何が起きるか分からない。安全性が未確立のワクチンは打ってはいけない。

答 ワクチンは国に承認されており、実施の指示が出されている。効果とリスク双方の情報提供に努め、引き続き感染予防及びワクチン接種準備に取り組む。

問 無症状のPCR検査陽性者を見つけても、風評被害を拡げるだけである。自粛させ、経済悪化を招き、倒産者、解雇者、自殺者が増やすのは犯罪である。

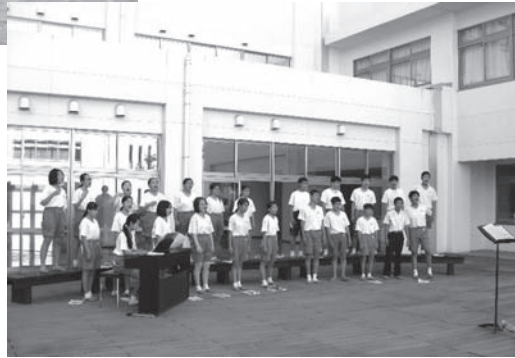
答 自殺等を防ぐよう、町も相談機関等の情報提供を今後も続ける。

問 無症状のPCR検査陽性者を見つけても、風評被害を拡げるだけである。自粛させ、経済悪化を招き、倒産者、解雇者、自殺者が増やすのは犯罪である。

答 自殺等を防ぐよう、町も相談機関等の情報提供を今後も続ける。

問 無症状のPCR検査陽性者を見つけても、風評被害を拡げるだけである。自粛させ、経済悪化を招き、倒産者、解雇者、自殺者が増やすのは犯罪である。

答 自殺等を防ぐよう、町も相談機関等の情報提供を今後も続ける。



部活動に励む中学生



福家利智子 議員

学校の部活動改革について

学校、地域等関係者と連携していく

問 文部科学省は昨年9月に「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」を示した。令和5年度以降休日の部活動を段階的に学校部活動から地域部活動へ転換を図るとされている。学校における働き方改革視点、休日の部活動に対する生徒の希望に応えるため環境を整えることが必要である。今後の部活動改革

についての方向性、具体的方策は。

答 部活動の地域移行は受け皿や指導者の確保等課題がある。教育委員会は、部活動の将来的な地域移行を視野に入れながら、中学校に現在設置している部活動の種類や数を精選し、複数顧問体制で教員の負担を軽減すること。また比較的外部に運営を

委託しやすい「アウトドア部」や「ボランティア部」など、誰もが気軽に参加し楽しく活動できる部活動を創設する。これからの時代にふさわしい持続可能な部活動を模索しながら、学校、地域等の関係者と連携しながら部活動改革に取り組んでいく。

全ての児童・生徒が学べる体制は

安心して学べる体制づくりに取り組む

問 平成28年に不登校児童・生徒に対する教育機会確保法が制定された。新型コロナウイルス感染症によつて通学することができない児童・生徒の学習を保障することは、大変重要なことだ。ICT環境整備が整つ中、オンラインによる学習支援が可

能となり様々な事情で登校が難しい児童・生徒に対して学習支援等学びの保障は。

答 感染症の拡大による学校の臨時休業の際だけでなく、様々な事情で登校が難しい児童・生徒に対しても、学校と家庭、教員と児童・生徒を双方向につなぐオンライン授業が考えられる。この学習方法は、互いに顔を見て言

葉を交わすことによる一体感や安心感が、児童・生徒の生活面を支えることにもつながる。教員や児童・生徒のICT活用能力の向上にも努め、全ての児童・生徒が安心して学べる体制づくりに取り組んでまいりたい。

ICT環境整備が整つ中、オンラインによる学習支援が可



使い方



松内広平 議員



(上)「びなんかずらの会」メンバーと認知症希望大使の志度谷利幸さん
(下)「ヘルプマーク」の着用例と裏面の記入イメージ

認知症の患者数と居場所づくりは

約1100人に疑いがあり参加しやすい場を作る

問

①認知症の患者数は。
②認知症の初期症状を察知するため、特定健診等に簡易検査を導入しては。
③「認知症カフェ」など居場所づくりの設置検討は。
④コロナ禍において、認知症を発症させない、進行させない取り組みは。また、希望大使に任命された志度谷利幸さんに、今後も当事者の代表として活躍していただく場を。
⑤「ヘルプマーク」の配布状況と今後の普及啓発は。

答

①約1100人（高齢者の8人に1人）に認知症の疑いがある。県、全国と比べて高い。
②かかりつけ医で行う「認知症セルフチェックシート」と健診時に質問票を実施している。「周りから物忘れがあると言われるか」の問いに約2割が《ある》と回答している。
③「ほつとか連とこ100歳体操」や「いきいきサロン」「びなんかずらの会」など現在の活動に加えて、「認知症カフェ」の目指すところである気軽に

参加でき、主体的に活躍できる場を作っていく。
④放送によるラジオ体操やDVD貸出を継続していく。希望大使に任命された志度谷さんには、啓発活動として活躍できる場を設け、認知症があっても自分らしく暮らしている地域づくりをめざしたい。
⑤平成30年5月の事業開始から昨年12月末までで県全体で5,933枚、綾川町は57枚である。援助が必要な方に行き渡るよう啓発に努めたい。

自費検査助成と抗原検査キットの備蓄を

助成は行わず備蓄は検討課題とする

問

高松市では65歳以上の方に自費PCR検査1回あたり17000円の助成を開始した。12月だけで49件の利用があり、需要がある。
①「自費PCR検査」を希望する町民に、年齢を問わず費用助成しては。

答

②「PCR検査」以外に、15〜30分程度で検査結果が出る「抗原検査」を取り入れては。
③「抗原検査キット」を災害時等の避難所の備蓄としては。
①②広く浅く行う検査や単発の検査はあまり意味がなく、定期的な検査も

費用面で問題がある。PCR検査センターの行政検査を継続する。
③「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練」にあわせて、備品を整備している。今後の検討課題とする。



新しくなった道の駅



大野直樹 議員

着地化型観光と関係人口について

町へ深い関心を持つていただきたい

新型コロナウイルス感染拡大以降、インバウンドに頼ってきた観光や経済は完全に崩れ去った。そのような中始まったGOTOトラベルは、地元を知り、身近な観光を楽しむ機会になったのでは。

問 大学生や移住者、高校生、女性目線を含めた会議を実施しては。

答 着地型観光の実施は、地域情報に精通した住民の参加が必要である。

自然や文化を再確認し、今まで気づかなかった地域の固有性や独自性を引き出すことにより、地域の再生や、観光を通じた新たな魅力の創造につなげていきたい。

問 商品や観光スポットの定期的なアップデートが必要であり、企業とも連携を深めて頂きたい。そこで農

家民泊やお試し住宅等の整備も急務だと考えるが。

答 現在、綾川町において実施されている着地型観光は、いちご農園のいちご狩りや、農家民宿の農業体験等のグリーンツーリズムが挙げられるが、さらに推進するために、道の駅を中心とした周辺のまち歩き等、新たな観光プログラムの企画立案が必須となる。

問 高校インターハイの自転車競技も本町での開催が決まっている。自転車やツーリング等で来られる方の目線も取り入れていただきたい。

琴電の駅を使った観光や体験型観光のように再び訪れることが出来るような物語が必要では。

林業農業産業を含めた情報

発信を行うべきと考えるが。

答 今後、企画立案の協議を重ねることにより、地域の歴史や文化、観光事業者や交通事業、農業、林業、

地場産業など異業種の連携による新たな価値の創造が図られ、観光をからめたサイクリングロードの設定や琴電の活用、体験型観光など、特色を生かしたストーリーの発信も可能である。

※着地型観光とは、旅行者の受入地域で開発される観光プログラム。旅行者は、現地集合・解散という観光形態がとられる。



十河 茂広 議員



店舗前駐車場



町道西側の新設駐車場



たきひめ

あやべえ

周辺には、いちご狩り、滝宮天満宮、滝宮公園、イオン等の施設があり猪鼻トンネルも昨年開通し綾川町へのアクセスも容易になった。かなりの集客が見込まれる。

コロナ禍の中、昨年12月13日に「道の駅滝宮」が、無事リニューアルオープンした。いよいよ3月28日には、農産物直売所と苺に特化したスイーツ専門店が加わりグランドオープンする運びとなった。「うどんと苺の郷」としてさらに綾川町の魅力発信と活性化の拠点となり新たにスタートする。道の駅に来訪者を迎える最初の重要ポイントは駐車場である。快適・安全性は道の駅全体の魅力に大きく影響すると考えられる。

「道の駅滝宮」駐車場に関わる課題について

グランドオープン後の状況を注視する

問 リニューアルオープン2カ月半の集客を総括しての見解は。

答 2月末までで、約25200人の来客があった。指定管理者（穴吹エンタープライズ）が運営している津田サービスエリアの来客状況は前年比で約半数まで落ち込んでいる。様々な自粛、緊急事態宣言発令が影響していると思われる。道の駅滝宮も同様であると推測される。

問 グランドオープンを迎えての集客目標は。また目標達成への策はあるのか。

答 年間来客数は50万人を目標としている。指定管理者の経験とノウハウを活かした特色ある運営や、SNS等による情報発信など努力していく。特に穴吹グループ企業が運営するマンション入居者への発信や、従業員約8000人への観光情報の提供により、グループ一丸となつて取り組むとのことであり、

町としても協力していく。

問 グランドオープン、イベント開催時の国道、町道の渋滞対策、安全対策は。

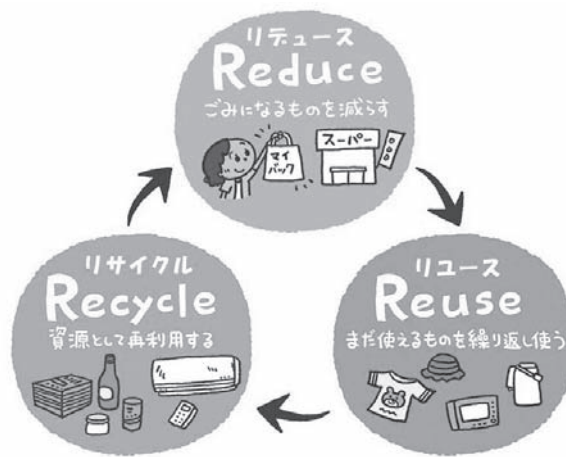
答 道の駅運営協議会や高松西警察署とも協議し、警備員の配置やイオン綾川への臨時駐車場要請、また「えきバス」やイオン綾川からのシャトルバス臨時運行により、来客者の送迎を計画しており、渋滞緩和に努める。

問 今後の来客数、駐車場利用台数により、駐車場拡大案はあるのか。

答 現在のところ駐車場の過不足についての評価はできていない。グランドオープン後の状況を注視し、今後の研究課題とする。新型コロナウイルスの感染拡大が早期に収束し、観光客や人の往来が回復することを願い、町の賑わいの中心となるよう指定管理者ともども努力していく。



川崎 泰史 議員



豊島のくるくる市と3R

「ゼロカーボンシティ」へリユースの取り組みは

「ゴミ再利用に関する仕組みなどを研究課題とする」

問 「ゼロカーボンシティ」を目指し、循環型社会の実現への取り組みとして3Rを促進している。3Rのうちリユース（製造されたものを何度も使うこと。中古品として使用すること）への町の取り組みは。

再利用できる仕組みを構築している自治体もあり、ごみの減量化もあわせて研究課題とする。

問 「くるくる市」という使えそうな不用品を公共施設等集める仕組みがある。再利用する住民は無償もしくは若干の金額で利用することが可能。道の駅や公民館等の人の集まる施設に設置し

答 リユースに対する取り組みについて、粗大ごみの中から他の町民に譲渡し

る。再利用する仕組みが、町の人口規模や環境施策等考慮しながら、先進地を参考に研究していく。

中小企業振興会議の参加者について

提案のあった方々や、公募等により募集していく

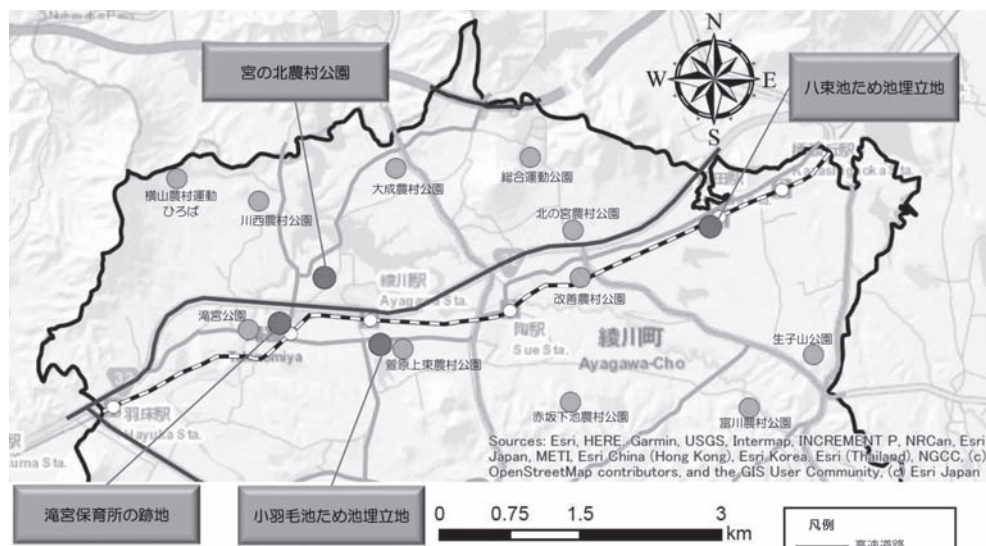
問 児童生徒、学生等の若者の中小企業振興会議への参加を。その際、教師や教授なども参加してもらい、学校、大学等との連携を進め

ては。また町外からの移住者、女性、社会的弱者とされる方

々の参加も望ましい。さらに参加者を含めて、会議の具体的な手法は時勢に合わせて常に改修していく必要がある。町の考えは。

答 中小企業振興会議の設置にあたり、他市町も

参考に、いろいろな立場からの意見で目的の達成に努めた。関係者のほか提案のあった方々や公募等により地域経済の発展に意欲ある人材に参加いただきたい。



公園整備候補地



三好 東曜 議員

公園の整備計画及び管理は

身近で親しめる公園整備に努める

本町は今後公園を新たに段階的に整備して行く計画。

公園の整備は、周辺地域の人口動態を踏まえ、都市機能としてどういう役割を持たせるかが大切。

問 中国のように健康遊具を設置しては。公園および公園を繋ぐコース上に異なった遊具を置けば人々はいきいきと町歩きをし、複数の公園を回るのは。

答 今後研究する。新年度は小羽毛池の埋立地を公園整備する設計を行い、公園それぞれの特性と目的を具

体的に検討する。

問 グリホサート系除草剤、ネオニコチノイド系農薬を公園や公共施設管理で使うべきではないのでは。健康被害があるとして、米国では製造元が敗訴している。

答 部分的に除草剤を使用する場合もある。利用者の安全性も重視し精査する。

問 徳島県上勝町の「くるくるショップ」にはまだ使える不用品を町民が無料で交換できるリサイクル機能がある。公園に置くことで利用率が増え、ゴミは減量し、

循環型社会やSDGsの目標達成、ゼロカーボンシティへ有効では。

答 ごみの減量化は非常に重要な課題。施設や人員体制の整備は現状困難。今後の研究課題とする。

問 指定管理料は適正か。外部監査を入れて見直しが必要では。

答 指定管理料は外部監査を基に算定したものである。公園の管理は、指定管理の外部監査を入れるほどのものではない。

オンライン行政視察の受け入れ環境整備は

今後の検討課題とする

新型コロナウイルス禍でオンライン視察を受け入れる自治体が多く見られる。オンライン視察は旅費や食費、宿泊費や、紙資料を削減でき、視察自体が容易になる。海外からも視察を期待でき、観光客や技能実習生の誘致にもつながる。

徳島県上勝町は一人2500円の有料視察を行っている。

問 うどん発祥の地などの町の魅力をまとめた有料視察を作り、積極的に視察をしてもらえるようにしては。

答 感染対策や経費削減の観点、業務改善の観点からも検討課題とする。

問 女性や障害者の登用にもオンラインの活用は効果があるのでは。子育てをしながら、遠隔から意思決定に参加できる。

答 町も女性管理職は積極的に取り入れている。今後そういう方向に進むであろうことは理解している。



3月定例会の傍聴風景(3月22日)



町議会を傍聴して



おおつか
大塚 はるなさん

私は2月中旬から綾川町に議員インターンシップ生として来ています。議員さんはどのような仕事をしているのかはもちろんのこと、行政の仕事や企業運営など大学では学ぶことのない社会勉強をさせていただいています。

その一環として今回、一般質問の傍聴をいたしました。今まで感じたことのない緊張感や重厚感が漂い、一般質問を通して綾川町をよくしていこうという行政や議員さんの思いが伝わってきました。

また教育や福祉、産業、観光など興味深い質問がたくさんされていました。住民の意見が反映され、暮らしやすい綾川町が実現されてほしいと願っています。

一般質問の中で議員の方々の多方面からの視点に感銘を受けました。私はまちづくりに興味があるので参考にさせていただきたいと思います。

3月末までインターンシップがありますので様々な場所を訪れ、地域の方とお話をさせていただきます。もっと綾川町の魅力に触れていきたいと考えています。



なかもと
中本 拓海さん

新型コロナウイルスの感染拡大に影響を大きく受けている日本経済、私は関東圏の人間だからこそ、地方の新型コロナウイルスによる経済影響とその問題に対する解決策などを主に傍聴をさせていただきました。未だ影響は出ているものの、ウィズコロナの視点やSDGsの観点から綾川町の現時点での状況に対する問題解決の討論をしていたことに感銘を受けました。

なお、学校統合の問題提起については関東では数少ない問題であり、『子供の教育の質を上げるためには』ということを中心に議会で繰り上げられる討論の緊張感とその緊張感を生み出す、議員の方々の町を良くする為にはという姿勢に終始考えさせられました。新型コロナウイルスの脅威により更に町としてもSDGsへの取り組みが重要性を増して、綾川町の持つ魅力はどう県外へ発信することが良い影響をもたらすのかも考えながら傍聴させていただきました。町の発展と魅力発信を考え、綾川町での活動を行っていききたいと思っています。



編集後記

町民のみなさんには、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取り組みをお願いして、一年になります。みなさんのご協力により町内では、最小限に封じ込めております。感謝を申しあげます。今後の対策についても議員一同全力で対応してまいります。

コロナウイルス感染防止対策をとりながら3月定例会において、令和3年度予算が慎重審議の結果、可決されました。予算は、新型コロナウイルス対策を含め盛りだくさんとなっております。

今後とも、正確な情報発信をしてまいります。ご愛読ください。

議会広報編集委員会

委員長	安藤 利光
副委員長	松内 広平
委員	三好 東曜
委員	十河 茂広
委員	植田 誠司
委員	西村 宣之
委員	川崎 泰史